

すぎか子ども読書ちゃれんじ 実施要綱（峰の原高原版）

- 1 目的

子どもの読書活動を推進するため、家族が一体となり読書活動に取り組む意識を喚起し、且つ楽しく読書活動に取り組めるよう、よりよい読書環境づくりと継続的な読書活動を支援する。
読書が苦手な児童生徒に、読書をはじめのきっかけを与える。
親子読書を勧め、読書を通じた親子のコミュニケーションを図る。
- 2 実施期間

○1年間（年度毎、参加募集は随時）
*子ども読書の日〔4月23日（月）〕～翌年2月15日
- 3 参加対象者

○須坂市内の小学生・須坂支援学校生
- 4 実施窓口

○市立須坂図書館
○峰の原高原地区読書ちゃれんじ推進員（ねっこわあく 平井さん（ロ
ッジやまぼうし）・ねっこわあく 山中さん）
- 5 実施方法
 - (1) 参加募集

○チラシ等を配布し募集
 - (2) エントリー

○希望者は同封のポイントカード裏面のエントリーカード（参加者登録）に必要事項を記入する。
※本年度以外のエントリーカードは使用できません。
 - (3) 対象書籍

○マンガ・コミックや雑誌、教科書類を除くすべてのジャンル
○本は学校・市立図書館・児童センター・児童クラブ・地域公民館・家庭・書店などどこから求めたものでもよい。
○全国・長野県課題図書から1冊を必読とする（須坂支援学校・各校特別支援学級についてはこの通りではない）。また、学校の先生やおうちの方など、大人の方から勧められた本を読んでも良いこととする。
 - (4) ポイントの処理

○参加者は、本を読んで記入したコメントカードを窓口に提出。
○窓口では、コメントカード1枚につき片面であれば1スタンプ、両面であれば2スタンプをポイントカードに押印。（担当者の印で可）
○ポイントカードは、カードファイルで児童生徒が自己管理する。
○各認定基準に達した児童はポイントカードを文化スポーツ課（須坂市役所東庁舎八十二銀行向かい）に持参し提出。（記録後、次ステージのポイントカードを発行する）
 - (5) コメントカードの記入

○コメントの代わりに星の色塗りのみも認める。
○文章で記入することを基本とするが、絵で表すことも認める。
 - (6) コメントカードの活用

○個人用コメントカードファイル「読蔵」にファイリングし読書の記録とする。

○読書推進運動協議会が定める読書週間（10月27日～11月9日）に併せ、コメントカードを募集し、選考されたコメントカードはしおり等にして市立須坂図書館やホームページ等で紹介する。

応募用紙はホームページよりダウンロードする。

(7) 認定・表彰

○ポイント数に応じて認定をおこなう

○認定基準は読書の冊数に応じて3段階とする。

◆認定基準

対象者	認定基準		
	名人級	達人級	殿堂級
小学1年生	30冊	75冊	150冊
小学2年生	40冊	100冊	200冊
小学3・4年生	30冊	75冊	150冊
小学5・6年生	20冊	50冊	100冊

※小学1年生はスタートが遅れるため認定冊数を3・4年生と同様とする

※名人級、達人級・・・認定は月毎おこない、認定証を郵送する

※殿堂級・・・・・・・・殿堂級達成者は親子表彰する。表彰式は年度末を予定。

対象者の表彰は年1回限りとし、副賞は市内文化施設の1年間フリーパスを贈呈する。第10回を記念した特典を検討。

※6年生の認定者（名人級以上）には、6年間のすざか読書ちゃれんじの記録証を贈呈する。

(8) その他

○募集要綱や実施状況を市ホームページ上で広報。

○特別支援学級において、自分で読書をするのが困難な場合、読み聞かせ1冊を読書1冊と認めることとする。

○小学1年生は、文字の学習が進み自分で読書ができるようになるまで、読み聞かせ1冊を読書1冊と認めることとする（コメントカードの記入も不要）。

○学校や市立図書館のおはなし会で、ボランティアの読み聞かせを聞いてコメントを記しても読書と認める。この場合のコメントカードの記入はわかる範囲で良い。